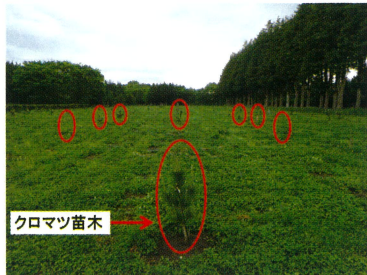


## ◎主な研究成果

### ◆抵抗性クロマツによるマツ材線虫病対策

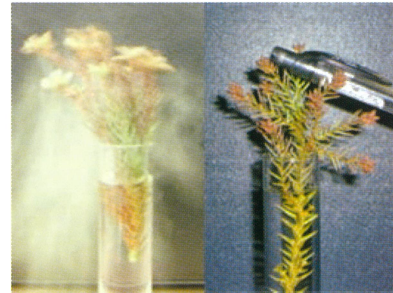
- 【目的】マツ材線虫病に強いクロマツ種苗を生産する。  
 【結果】センチュウ非感染な抵抗性クロマツ接ぎ木苗を増殖し採種園を整備した。  
 【今後】整備した採種園を管理し、造林用種苗を供給する。



整備した抵抗性クロマツ採種園

### ◆スギ花粉症対策品種の開発

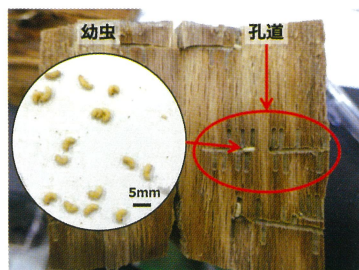
- 【目的】県内の造林に適した無花粉スギを開発・普及する。  
 【結果】成長が早い無花粉スギによる採種園、採穂園を整備した。  
 【今後】種子、穂木を生産するとともに、効率的な生産技術を開発する。



普通のスギ(左)と無花粉スギ(右)

### ◆ナラ枯れ被害の拡大防止

- 【目的】ナラ枯れ被害の発生を予測し、被害拡大を防止する。  
 【結果】発生予察等により、ナラ枯れ被害を早期発見し、的確な防除に努めた。  
 【今後】被害拡大防止のために調査範囲を拡大し被害発生予測を行う。



被害木の断面(カシノガキクイムシの孔道と幼虫)

### ◆森づくりの低コスト化技術

- 【目的】再造林コスト削減をめざし低コスト造林技術を確立する。  
 【結果】施業経費を従来の約50%に低減可能な施業モデル(機械地替え一低密度植栽一隔年下刈り)を示した。  
 【今後】普及に向けた情報提供及び追跡調査を行う。



機械地替え(左)とコンテナ苗植栽(右)

### ◆公共建築物への県産材利用の促進

- 【目的】公共建築に対応する製材品生産技術を開発する。  
 【結果】強度選別の手法が効率的生産に有効であることを実証した。  
 【今後】強度データを充実させ、生産技術を普及する。



公共建築に使用する建材の強度測定

### ◆県内の気候に適したアラゲキクラゲ新品種の開発

- 【目的】県内の気候に適したアラゲキクラゲ新品種を開発・普及する。  
 【結果】低温で成長が早く歯ごたえのよい1品種を開発した。  
 【今後】新品種を品種登録出願するとともに、県と連携して普及に取り組む。



アラゲキクラゲ新品種の菌床栽培

## ◎その他の試験・研究・調査

- ◆森林施業と林地環境に関する調査
- ◆マツ材線虫病等森林病虫獣害発生予察調査
- ◆林業用種子の生産・販売
- ◆ヒバ挿し木優良品種の開発

- ◆森林資源と木材生産に関する調査
- ◆木材生産加工技術の指導
- ◆食用きのこの育種、開発したきのこ種菌の供給
- ◆特用林産物生産の技術指導